

TEPRA LINK 2 アプリの使い方

1 ラベルを作成する（基本編）

- 1-1 テキストを入力する
- 1-2 テキストボックスや記号などのオブジェクトを追加する
- 1-3 テキストボックスや記号などのオブジェクトを編集する
- 1-4 レイアウトを調整する

2 ラベルを印刷する

- 2-1 □をタップする
- 2-2 「テプラ」本体を選択する
- 2-3 「テプラ」本体との接続状態を確認する
- 2-4 印刷部数を指定する
- 2-5 印刷を実行する

3 ファイルを管理する

- 3-1 作成したラベルデータ（ファイル）を保存する
- 3-2 保存したファイルを開く
- 3-3 ファイル名の変更、共有、移動、複製、削除をおこなう
- 3-4 新規ファイルまたは新規フォルダを作成する
- 3-5 ファイルを検索する
- 3-6 印刷履歴を呼び出す

4 ラベルを作成する（応用編）

- 4-1 ラベルデザイン（テンプレート）からラベルを作成する
- 4-2 「複数ラベル機能」を活用する
- 4-3 翻訳機能で多言語ラベルを作成する
- 4-4 テープ長を固定する
- 4-5 余白を変更する
- 4-6 お勧めの記号以外の記号も表示する
- 4-7 写真、連番、バーコードの編集機能の詳細
- 4-8 便利な使い方

5 その他

- 5-1 ファイルをバックアップする
- 5-2 ファイルの互換性
- 5-3 ネットワーク設定確認ツールを使う（macOS向けのみ対応）
- 5-4 お問い合わせ

付録

- ① ネットワーク設定確認ツール 各画面の説明
- ② 流し込みフォームによるラベルの編集方法

本書はスマートフォン（iOS/Android端末）の画面を例に説明しています。タブレット端末では、ボタンの配置など画面構成が一部異なりますが、操作方法は同様になります。macOS向けでは、画面構成と一部の操作方法が異なります。また、macOS向けにのみ搭載されている一部機能等については補足説明などをご参照ください。

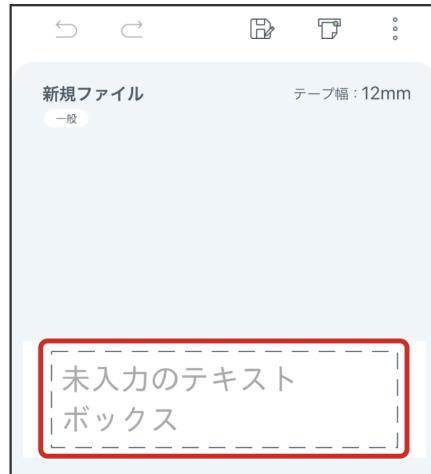


1-1 テキストを入力する

①アプリを起動し、レイアウトの編集画面を表示する



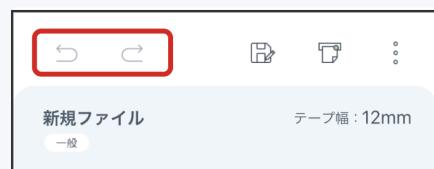
②テキストボックスをタップし、選択状態でダブルタップ



③キーボードで文字を入力し、「完了」をタップ



※ (アンドゥ)、 (リドゥ) で、操作を元に戻したりやり直したりすることができます。



※macOS向けの場合、入力内容を確定するための「完了」ボタンが存在しません。テキストボックス以外の編集領域をクリックすることで、入力内容が確定できます。

1-2 テキストボックスや記号などのオブジェクトを追加する

① [⊕] (記号・外枠ほか挿入) をタップ



※テキストボックスを選択したままの状態では、画面下部に [⊕] が表示されません。テキストボックス以外の編集領域を一度タップし、テキストボックスの選択を解除してください。



②挿入したいオブジェクトを選択



※各オブジェクトの詳細については、「4-7 写真、連番、バーコードの編集機能の詳細」を参照してください。

③画面に従ってオブジェクトを挿入

画面は記号の挿入を例にしています。挿入したい記号を選択し、「挿入」をタップしてください。



※テキストボックスを追加したい場合は、（テキストボックス）をタップしてください。



1-3 テキストボックスや記号などのオブジェクトを編集する

編集したいオブジェクトをタップすると、オブジェクトの編集画面が表示されます。オブジェクトの削除、回転、向き、グループ化、重ね順などの編集ができます。

- ：オブジェクトの削除
- ：回転
- ：向き
- ：グループ化

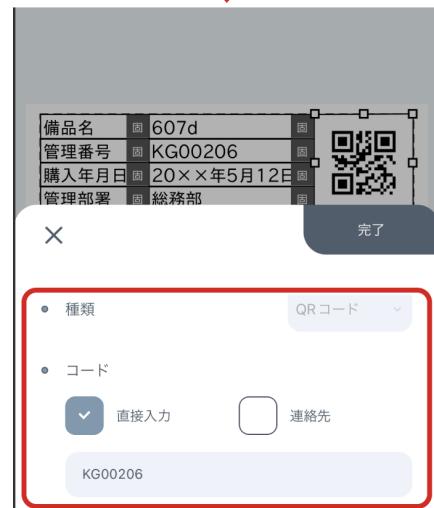
オブジェクトの種類によっては、操作できない機能があります。操作できない機能はグレーアウトされます。



※「テキストボックスの自動調整」をonにするとテキストボックスに  が表示され、テキストボックスを拡大・縮小しても文字サイズが自動で変わらなくなります。

※グループ化は、オブジェクトが複数選択された状態で使用します。選択方法は、“4-8 便利な使い方”的「オブジェクトを複数選択したい場合」を参照してください。

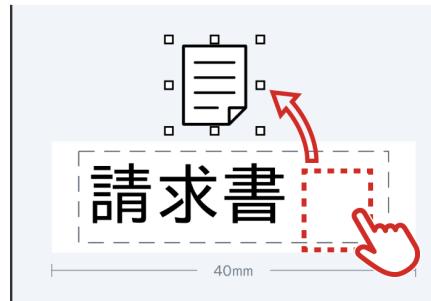
「写真」「連番」「バーコード」はオブジェクトをさらにダブルタップすると、オブジェクトの設定画面が表示されます。



1-4 レイアウトを調整する

●配置を変える

調整したいオブジェクトをタップし、ドラッグします。



●縦書きと横書きを切替える

（縦書き）または（横書き）をタップします。

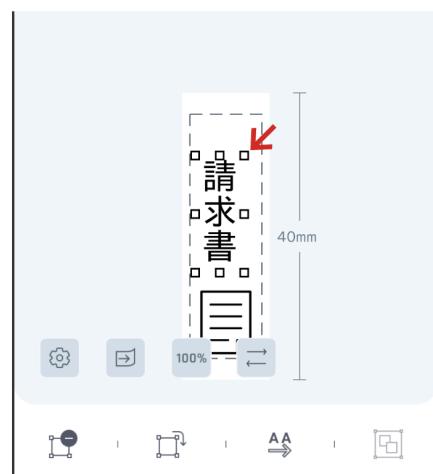


※  または  では、ラベルの向きとオブジェクトの向きをすべて一括で切替えます。個々のオブジェクトの縦書き/横書きを切替えたい場合は、切り替えたいオブジェクトの編集領域をタップし、 または  をタップしてください。オブジェクトを回転したい場合は、 (回転) をタップしてください。



●オブジェクトを拡大・縮小する

オブジェクトをタップし、 (アンカー) のいずれかをドラッグします。



※  (アンカー) のいずれかをドラッグしても、縦横比を維持して拡大・縮小されます。



2-1 をタップする

レイアウト編集画面の (印刷設定) をタップします。



2-2 「テプラ」本体を選択する

印刷に使用したい「テプラ」本体を選択します。

「テプラ」本体との接続方法は、機種とOS毎に異なります。

●Bluetooth®で接続する場合

「テプラ」本体の電源を入れ、接続可能な状態にしてください。

※接続可能な状態にする方法は、「テプラ」本体の取扱説明書を参照してください。

<iOS 端末をお使いの場合>

(1)本アプリの印刷設定画面で をタップし、「テプラ」本体を選択します。

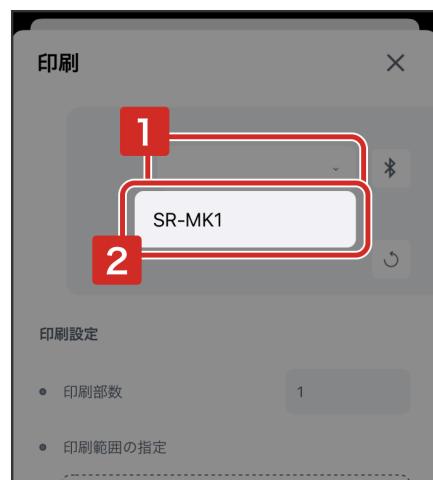
このとき、接続先の本体が表示されるまでに時間がかかることがあります。



(2)接続した機種をプルダウンから選択します。

機種によっては手順(1)をスキップし、手順(2)のみで接続できます。

対象機種：SR-R5600P



<Android 端末をお使いの場合>

(1)Android端末と「テプラ」本体のBluetooth®をONにします。

(2)本アプリの印刷設定画面を開き、プルダウンから「テプラ」本体を選択します。



(3)「ペア設定する」を選択します。

事前にAndroid端末のBluetooth®接続画面で、「テプラ」本体と端末が接続されている場合、(2)の操作は不要です。

機種によっては、Android端末のBluetooth®接続画面で「テプラ」本体と端末を事前に接続する必要がありません。

対象機種：SR-R5600P



※“位置情報”は、“テプラとスマホとの位置の距離”を取得する目的でおこなっています。本アプリでは、GPSで位置情報を取得しておりません。

<Mac端末をお使いの場合>

(1) Mac端末のBluetooth®をONにします。

(2) 本アプリの印刷設定画面を開き、プルダウンから「テプラ」本体を選択します。

対象機種：SR-R5600P



●Wi-Fi（無線LAN）で接続する場合

Wi-Fi（無線LAN）の設定は、“5-3 ネットワーク設定確認ツールを使う（macOS向けのみ対応）”を参照してください。

(1) 「テプラ」本体の取扱説明書の内容に従い、インフラストラクチャモードまたはアクセスポイントモードで接続をおこないます。

(2) 本アプリの印刷設定画面で「テプラ」本体をプルダウンから選択します。



※iOS端末で使用する際に、「“TEPRA LINK 2”がローカルネットワーク上のデバイスの検索および接続を求めてます。」のアラートが表示された場合は、「OK」をタップしてください。

※インフラストラクチャモードおよびアクセスポイントモードの設定については、「テプラ」本体の取扱説明書のモード切替方法を参照してください。

●USBで接続する場合（macOS向けのみ対応）

(1)「テプラ」本体の取扱説明書の内容に従い、USB接続をおこないます。

(2)本アプリの印刷設定画面で「テプラ」本体をプルダウンから選択します。



※現在対応している各「テプラ」本体と各端末の接続方式の対応表は以下の通りです。

機種	スマートフォン		Mac		
	Bluetooth®	Wi-Fi	Bluetooth®	Wi-Fi	USB
SR-R980	-	-	-	-	○
SR750	-	-	-	-	○
SR-R680	-	-	-	-	○
SR-R7900P	-	○	-	○	○
SR5900P	-	○	-	○	○
SR-R5600P	○	-	○	-	○
SR-MK1	○	-	-	-	-
SR-R2500P	○	-	-	-	-

2-3 「テプラ」本体との接続状態を確認する

「テプラ」本体のステータスランプが緑色になっていることを確認してください。

各種ステータス：

- 緑：待機中（印刷できます）
- 黄：印刷中
- 赤：エラー（エラー内容が表示されます）

接続状態を更新したいときは、 (更新) をタップしてください。



※  をタップすると接続状態の更新のほかに、作成したラベルデータのテープ幅が、「テプラ」本体にセットしているテープカートリッジのテープ幅に合わせて変更されます。

2-4 印刷部数を指定する

①「印刷部数」をタップ



②枚数を入力し、「OK」をタップ



※最大100枚のラベルの印刷を指定することができます。

※カット設定、色の反転や鏡文字印刷などをおこなう場合は、「詳細設定」をタップして各種項目を指定してください。



2-5 印刷を実行する

 印刷 をタップします。

- 印刷範囲の指定



ここをタップして印刷範囲を選択してください。

詳細設定

 印刷

※印刷の実行中もラベルの編集は可能です。

※印刷の中止は、レイアウト編集画面の印刷設定アイコンが  の表示になっている間のみ可能です。



3-1 作成したラベルデータ（ファイル）を保存する

①レイアウト編集画面の (保存) をタップ



②ファイル名を入力し、「OK」をタップ



※新規作成したファイルは「Default」フォルダに自動的に保存されます。

※既に保存されているファイルの場合、をタップし、ファイル名を変更せずに「OK」をタップすると、上書き保存をするかどうかのアラートが表示されます。上書き保存しない場合はファイル名を変更してください。

※ファイルは1フォルダあたり300個まで保存できます。

※ファイル名に半角の"/"が含まれている場合、ファイル名を入力し「OK」をタップすると、自動的に半角の"_"に変換されます。

3-2 保存したファイルを開く

①レイアウト編集画面の (メニュー) をタップ



②「ファイル一覧」をタップ



③フォルダを選択

ファイル一覧画面から開きたいファイルが保存されているフォルダを選択します。



※「Default」フォルダ内が表示されている場合は、画面左上の＜をタップしてファイル一覧画面を表示し、該当フォルダを選択してください。

※新規作成したファイルは「Default」フォルダに自動的に保存されます。

④開きたいファイルをタップして開く



3-3 ファイル名の変更、共有、移動、複製、削除をおこなう

①ファイル一覧画面の  をタップ



②ファイルにチェックを入れる



③対象のアイコンをタップし、各画面に従って操作する

- ・  : ファイル名の変更
- ・  : 共有
- ・  : 移動
- ・  : 複製
- ・  : 削除



※ファイル名の変更は1つのファイルにチェックが入っているときのみ有効となります。複数のファイルを選択しているときは操作できません。

※  (共有) を使用したファイルをバックアップは、“5-1 ファイルをバックアップする”を参照してください。

※macOS向けの場合は、 (本体保存) アイコンも表示されます。 を選択すると、ラベルデータをMac本体に直接エクスポートして共有することができます。

3-4 新規ファイルまたは新規フォルダを作成する

①ファイル一覧画面の **+** 新規作成 (新規作成) をタップ



②「ファイルの新規作成」または「フォルダの新規作成」をタップ



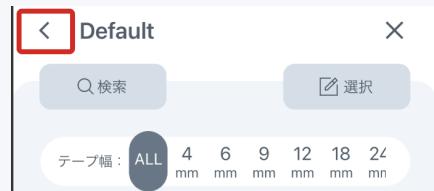
※「フォルダの新規作成」を選択した場合は、入力ウィンドウでフォルダ名を指定してください。

フォルダ名に半角の"/"が含まれている場合、ファイル名を入力し「OK」をタップすると、自動的に半角の"_"に変換されます。



※フォルダ内にフォルダを作成することはできません。

※「Default」フォルダから作成したフォルダに移動する場合は、<をタップしてファイル一覧画面を表示し、該当フォルダを選択してください。



3-5 ファイルを検索する

●検索をおこなう

検索したいフォルダに入り、 検索 (検索) をタップしてキーワードを入力します。

キーワードで検索できる対象は以下になります。

- ファイル名
- ラベルデータに含まれるテキストポックスのテキスト情報



※macOS向けの場合、 (本体保存) からMac本体に保存したファイルは検索できません。

●テープ幅でフィルタをかけて絞り込む

「テープ幅」から、絞り込みたいテープ幅を選択します。



※macOS向けの場合、フィルタをかけられるファイルはアプリ上に保存したものだけです。Mac本体に保存したファイルを絞り込むことはできません。

3-6 印刷履歴を呼び出す

①レイアウト編集画面の⋮(メニュー)をタップ



②「印刷履歴」をタップ

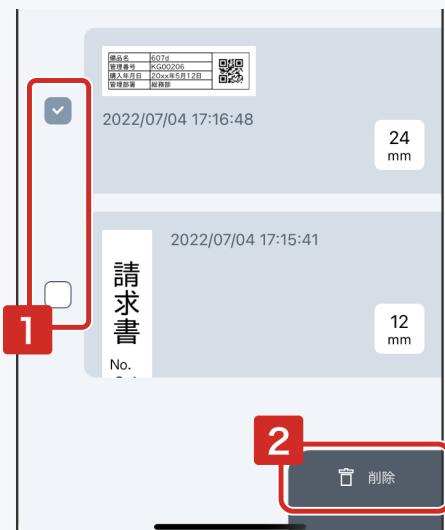


③呼び出したい印刷履歴をタップ



※印刷履歴は直近の300件が保存されます。

※印刷履歴を削除したい場合は、印刷履歴画面の 選択 (選択) をタップし、削除したいファイルにチェックを入れ、 削除 (削除) をタップしてください。





4-1 ラベルデザイン（テンプレート）からラベルを作成する

●あらかじめ登録されているラベルデザインから選択する場合

- ① (ラベルデザイン) をタップ



- ② カテゴリを選択し、使用したいラベルデザインをタップ

レイアウト編集画面が開きます。

内容を編集するか、そのまま印刷をおこなってください。



●新しいラベルデザインをダウンロードして使用する場合

- ① (ラベルデザイン) をタップ

- ② カテゴリを右にスライドし、 DL1～5を開く

- ③ ラベルデザイン一覧の中から、使用したいラベルデザインの をタップ



※ ラベルデザイン一覧を表示するためには、ネットワークへの接続が必要になります。

④ラベルデザインの詳細ページで、 (ダウンロード) をタップ

手順②で選択したカテゴリに、ダウンロードしたラベルデザインが保存されます。



※ラベルデザインは、本アプリに一度ダウンロードをすれば、以降はオフライン環境でも使用することができます。

※手順④で保存したラベルデザインを消去せずに他の新しいラベルデザインを追加したい場合は、手順②で別の  DL1~5を選択してください。

※ラベルデザインの追加が可能なカテゴリは全部で5つです。全てのカテゴリが埋まつた状態で、他の新しいラベルデザインを使用したい場合は、いずれかのカテゴリのラベルデザインを上書きする必要があります。

上書きをする場合は、上書きしたいカテゴリを開いて「ラベルデザインの入れ替え」をタップし、新しいラベルデザインをダウンロードしてください。



4-2 「複数ラベル機能」を活用する

「複数ラベル機能」を使用すると、1つのファイル上で複数のラベルを作成し、印刷することができます。

①  (設定) をタップ



②「複数」にチェックを入れる



③「完了」をタップ

レイアウト編集画面の下部に複数ラベル用の操作ボタンが表示されます。



④+ をタップ

同一ファイル内にラベルが新たに作成されます。



※複数ラベルは最大50枚作成可能です。

※ラベル数は、現在開いているラベル/総ラベル数の形式で表示されます（例：2/2）。< > でラベルを移動することができます。

※現在開いているラベルをコピーして次のラベルを作成したい場合は、 (コピー) をタップしてください。

●作成した複数ラベルを一括でコピーしたり、ラベルを削除したい場合

 (リスト) →  選択 (選択) の順にタップしてください。
該当ラベルにチェックを入れ、画面右下の  (コピー) または  (削除) をタップしてください。

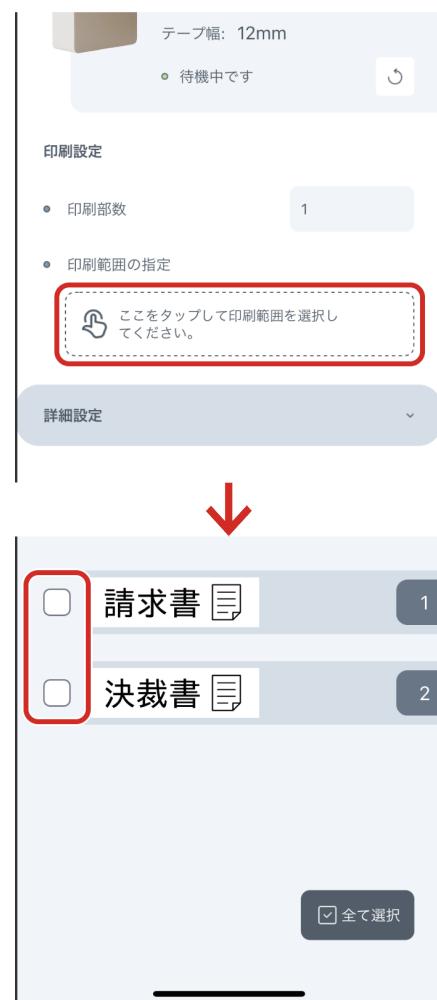


※ラベルの順番を変更したい場合は、ラベル一覧画面の  を長押しし、移動先の位置にドラッグしてください。



●複数ラベルの印刷をおこなう場合

特定のラベルを印刷したい場合は、印刷設定画面の「印刷範囲の指定」をタップし、印刷したいラベルにチェックを入れてください。



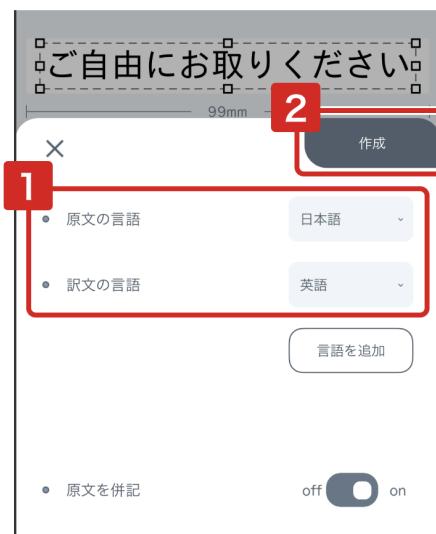
4-3 翻訳機能で多言語ラベルを作成する

①翻訳したいテキストの入ったテキストボックスを選択する

② (翻訳) をタップ



③原文（翻訳元）の言語と訳文（翻訳先）の言語を選択し、「作成」をタップ



※翻訳機能の使用には、ネットワークへの接続が必要です。

※複数言語を併記したい場合は、「言語を追加」をタップして翻訳先を追加してください。

※翻訳できる文字数は100文字までです。

※テープ幅によって行数に制限があります。以下の目安をご確認ください。

- 4mm、6mm：1行
- 9mm：2行
- 12mm：3行
- 18mm以上：問題なく翻訳が実行できます。

※言語によっては、設定しているフォントで正しく表示されない場合があります。正しく表示されているか確認してから印刷をおこなってください。

※翻訳はGoogle翻訳機能を使用しています。翻訳結果の正確性につきましては、当社では一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

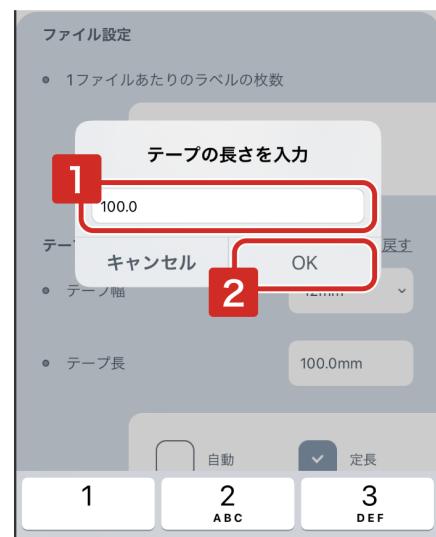
4-4 テープ長を固定する

① (設定) をタップ

② 「テープ長」で「定長」にチェックを入れる



③指定したいテープの長さを入力し、「OK」をタップ



※10.0mm～3000.0mmまでの間で入力が可能です。

④「完了」をタップ

4-5 余白を変更する

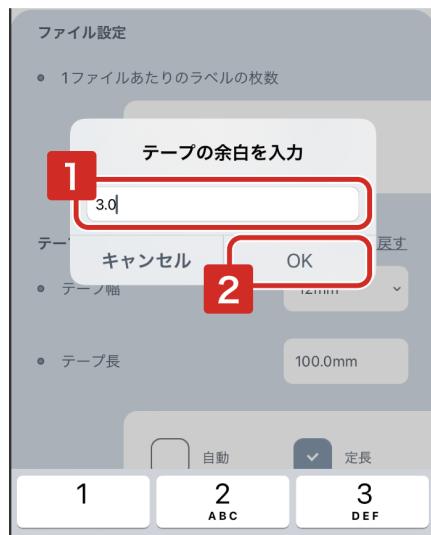
印刷するテープの最初と最後にある余白の長さを設定することができます。

① (設定) をタップ

②「余白」をタップ



③指定したい余白の長さを入力し、「OK」をタップ



※1.0mm～500.0mmまでの間で入力が可能です。

④「完了」をタップ

4-6 お勧めの記号以外の記号も表示する

「お勧めの記号を表示」をoffにします。

TEPRA LINK 2に搭載されている全ての記号が、記号の挿入画面に表示されます。



4-7 写真、連番、バーコードの編集機能の詳細

●写真の減色方法

しきい値1：

白と黒の2階調で表示されます。スライダーで値の調整ができます。

しきい値2：

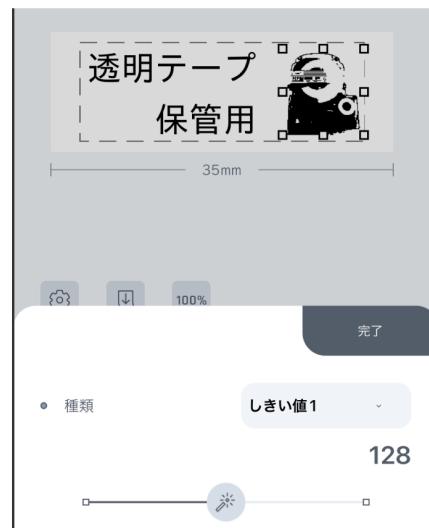
閾値を固定せずに、画素ごとに変化させる2値化処理です。

誤差拡散：

誤差拡散法を用いて2値化します。

スクリーン：

ハーフトーンスクリーンで表示されます。



●連番

初期値：

カウントを始める最初の数字を入力します。

初期値の設定値が「1」の場合は、「1」からカウントが開始されます。

注意) 数字のみに対応しているため、アルファベットには非対応です。

繰り返し数：

同じ数字を何枚印刷するかを数字で入力します。

「増分」が設定されている、かつ印刷部数が2以上の場合、増分まで同じ内容を何枚印刷するかを指定します。

桁数：

表示する桁数を選択します。最大3桁までの表示が可能で、数字の頭に0をつけた表示も可能です。

最大で表示できる桁数は3桁までです。

例えば、「100」の場合、1~999までの数値を表示することができます。また、

「001」の場合、表示の先頭に「0」も表記された001~999までの数値を表示することが可能ですか。

増分：

1つのカウント毎に増加する数字を指定します。

「初期値」が1、「増分」が2の設定値の場合は、1つのカウントごとに「1」「3」「5」と増加していきます。

「印刷部数」が5、「初期値」が1、「繰り返し数」が2、「増分」が2で印刷を実行すると、「1」「1」「3」「3」「5」の連番で印刷されます。

注意) 数字を減少させる設定は非対応です。

番号を全角にする：

onにすると連番が全角数字で印刷されます。offの場合は半角で印刷されます。



- 設定例①

設定値：「初期値」1、「繰り返し数」1、「桁数」10、「増分」5、「印刷部数」5

印刷結果：「1」「6」「11」「16」「21」

- 設定例②

設定値：「初期値」0、「繰り返し数」2、「桁数」001、「増分」50、「印刷部数」5

印刷結果：「000」「000」「050」「050」「100」

- 設定例③

設定値：「初期値」5、「繰り返し数」1、「桁数」1、「増分」3、「印刷部数」5

印刷結果：「5」「8」「1」「4」「7」

注意) 桁数が1桁表示のため、3枚目以降の「11」「14」「17」は1の位のみの表示となります。10の位を表示させたい場合は、桁数を「10」または「01」に設定してください。

●バーコード

QRコード：

コード	入力可能な文字は英数字・記号（半角のみ）および漢字。 「モデル2」、「誤り訂正レベルLow」の仕様で作成されます。
入力可能文字数	半角文字で1990文字、全角文字で842文字まで。 ※入力可能な文字数であり、読み取りができるのを保証するものではありません。

※QRコードが小さいと読み取りができないことがあります。テープ幅18mm以上で作成してください。

※連絡先の情報はvCard形式でQRコードに記録されます。

CODE39：

コード	数字・大文字のアルファベットおよび「.」、「」（スペース）、「\$」、「/」、「+」、「-」、「%」を入力可。最大128桁。
比率	2.5～3.0
テキスト	チェックデジットの出力を設定できます。

CODE128：

コード	数字、英字（大文字、小文字）、記号、特殊コード入力可。最大128桁。 特殊コードは右に表示されるリストボックスから選択します。 入力すると「・」と表示されます。Code Aのみに対応します。
テキスト	チェックデジットは付加されますが、テキストには表示されません。 特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません。

JAN-13：

コード	数字のみ入力可（チェックデジットは自動計算され付加されます）。12桁。
テキスト	チェックデジットも出力します。

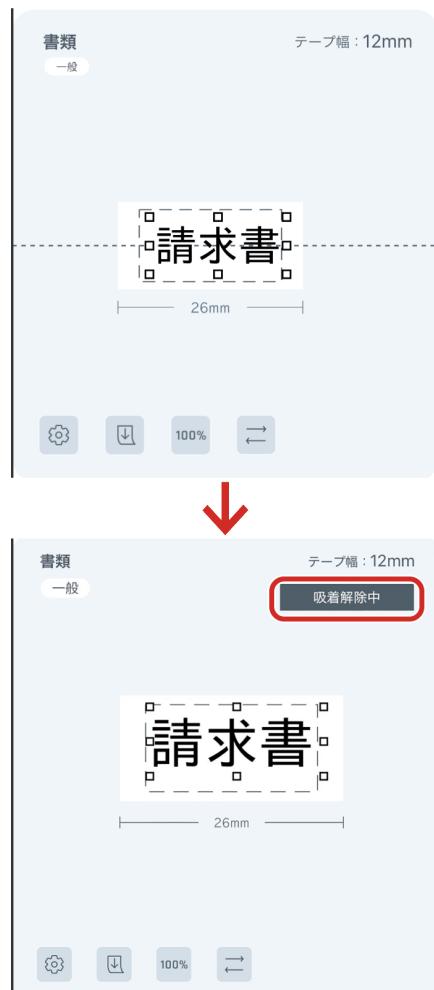
4-8 便利な使い方

●オブジェクトの「吸着」を解除したい場合

「吸着」とは、選択したオブジェクトをドラッグして移動する際に、印刷可能領域を示す破線や他のオブジェクトに近づけると自動的にフィットする機能です。

「吸着」を解除するには、オブジェクトを1本の指で選択してドラッグしている最中に、もう1本の指でタップしてください。

吸着が解除されている間は、画面上に「吸着解除中」と表示されます。



※macOS向けの場合、ドラッグしながらtabキーを押すと吸着が解除されます。

●オブジェクトを複数選択したい場合

1つ目のオブジェクトを選択している状態で、追加で選択したいオブジェクトを長押しすると、複数選択をすることができます。



※macOS向けの場合、shiftキーを押しながらオブジェクトをクリックすると、複数選択することができます。

●画面を拡大・縮小したい場合

ピンチ操作で画面を拡大・縮小することができます。

※macOS向けの場合は、レイアウト編集画面上の  (拡大)、 (縮小) で画面の拡縮率を変更してください。トラックパッドでピンチ操作をして拡大・縮小することも可能です。

  はmacOS向けのみ表示されます。



●ショートカットメニューを使用したい場合（macOS向けのみ対応）

右クリックで以下のショートカットが使用できます。

- カット
- コピー
- ペースト
- 削除
- 回転
- グループ化
- 重ね順





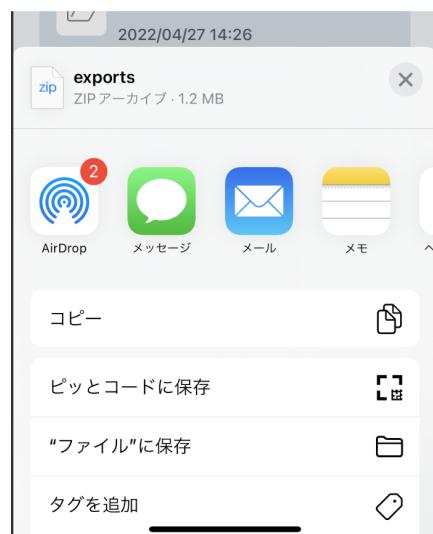
5-1 ファイルをバックアップする

- ①ファイル一覧画面でバックアップが必要なファイルまたはフォルダにチェックを入れ、（共有）をタップ

zip化されたバックアップデータが作成されます。



- ②任意の方法でバックアップデータを保管する



※バックアップデータを使用するときは、各OSのファイル共有方法に従い、本アプリでバックアップデータを開いてください。ファイル一覧にバックアップデータが展開されます。

※macOS向けでは、（本体保存）でアプリ上に保存したファイルをMac本体に共有し保存することができます。保存したファイルはのアイコンが表示されます。Macのプレビュー機能はお使いになれません。

5-2 ファイルの互換性

本アプリ（TEPRA LINK 2 ）ではTEPRA LINK で保存したファイル (.tm1) を開くことができます。

ただし、TEPRA LINK 2 でファイルを開いたときに以下の制限があります。

 TEPRA LINK 2 で保存したファイル	 TEPRA LINK 2 で開いたとき
Defaultフォントが選択されているテキストデータ	TEPRA LINK 2の標準フォントに変更されます。
複数挿入されている連絡先のデータ	一番上の連絡先の情報のみが継承されます。
手書きのデータ	手書きのデータは削除されます。
表データ	表オブジェクトの線と、個々のセルのテキストデータが分離した状態で形成されます。 また、TEPRA LINKでは表のサイズが文字数により可変長となっていましたが、TEPRA LINK 2で開くと、個々のテキストボックスのサイズは固定になります（「テキストボックスの自答調整」が「on」に設定されます）。

※TEPRA LINK 2で作成したファイルの拡張子は「.tm2」となります。

※TEPRA LINKで保存したファイルをTEPRA LINK 2で開く方法については、各OSのファイル共有方法に従ってください。

※「テプラ クリエイター」（SPC10）、シンプルラベルソフトSMA3で作成したファイルは、TEPRA LINK 2で開くことはできません。

※TEPRA LINK 2で作成したファイルは、TEPRA LINK、Hello、「テプラ クリエイター」（SPC10）、シンプルラベルソフトSMA3で開くことはできません。

5-3 ネットワーク設定確認ツールを使う（macOS向けのみ対応）

「ネットワーク設定確認ツール」では、接続している「テプラ」をインフラストラクチャモード、アクセスポイントモードで接続する際などに使用するネットワーク設定を確認・変更できます。

対象機種がUSB接続されている場合のみ利用が可能です。（対象機種：SR5900P、SR-R7900P）

※本項は基本的な操作を説明しています。各画面の詳細については、“付録 ①ネットワーク設定確認ツール 各画面の説明”を参照してください。

●起動する

①レイアウト編集画面の[○](メニュー) をクリック



②「ネットワーク設定確認ツール」をクリック



●設定したい接続方式を選択する

- ①「無線」 – 「基本」 設定画面で設定したい接続方式を選択し、「送信」をクリックする

送信完了画面が表示され、「テプラ」にネットワーク設定が書き込まれます。



<インフラストラクチャモードで接続する場合>

●無線LANアクセスポイントのSSIDとPSK（事前共有キー）を「テプラ」に設定する

- ①「インフラストラクチャモード」設定画面で無線LANアクセスポイントのセキュリティ方式とSSID、PSK（事前共有キー）を設定し、「送信」をクリックする

無線LAN アクセスポイントとの接続が成功すると、接続しているテプラ本体のインフラストラクチャモードランプが点灯します。



●無線LAN/有線LANのIPアドレスを手動設定する（固定IPアドレスを使用）

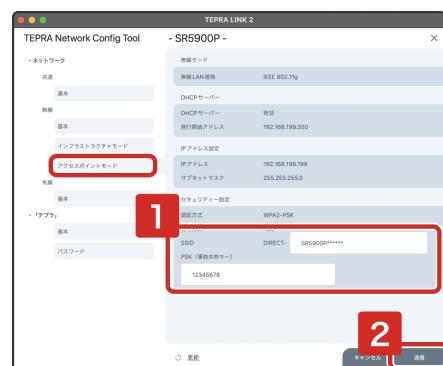
- ①無線LANの場合は「インフラストラクチャモード」、有線LANの場合は「有線」の「基本」設定画面で「手動」を選択し、IPアドレス、サブネットマスク、ルーターのアドレスを設定し、「送信」をクリックする



<アクセスポイントモードで接続する場合>

● 「テプラ」本体のSSIDとPSK（事前共有キー）を設定する

- ① 「アクセスポイントモード」設定画面でSSIDとPSK（事前共有キー）を設定し、「送信」をクリックする



※各画面の詳細については、“付録①ネットワーク設定確認ツール 各画面の説明”を参照してください。

※インフラストラクチャモードでの接続に成功すると、「テプラ」本体のLEDランプが点滅から点灯に変わります。

5-4 お問い合わせ

フリーダイヤル(全国共通) ナットクのパートナー
お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

受付時間: 平日(月曜日~金曜日)午前9時00分~午後5時00分
ホームページアドレス <https://www.kingjim.co.jp/>

キングジム、KING JIM、テプラ、TEPRAは株式会社キングジムの商標または登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Mac、macOS、BonjourはApple Inc.の商標です。

Android、GoogleはGoogle LLCの商標です。

BluetoothワードマークおよびロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、(株)キングジムはこれらの商標を使用する許可を受けています。

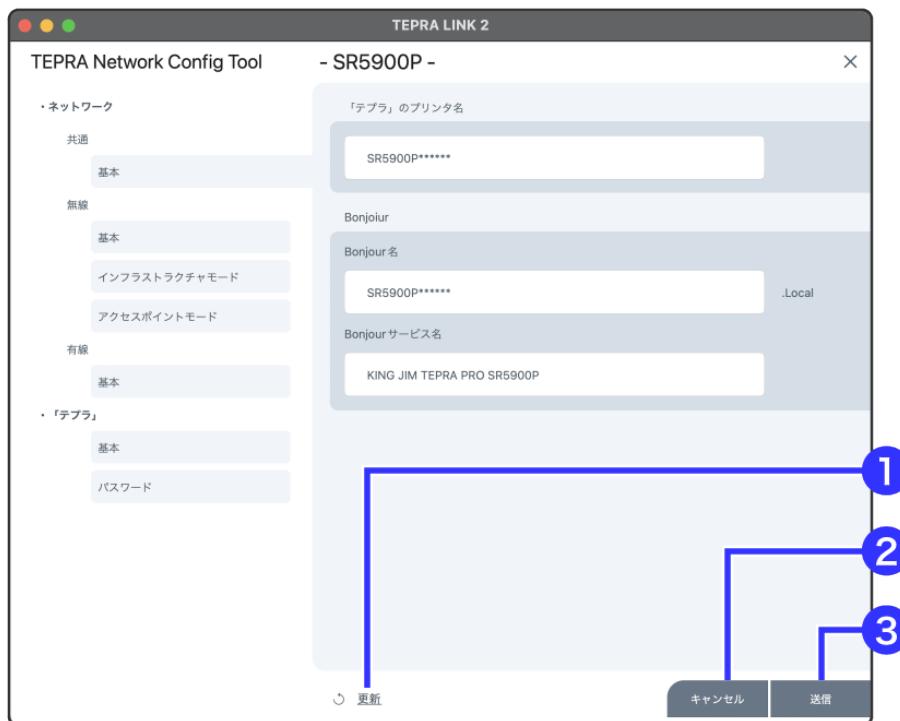
その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

2022-06-④



①ネットワーク設定確認ツール 各画面の説明

●画面共通部分



①「更新」ボタン

ネットワーク設定の表示を最新の情報に更新します。

②「キャンセル」ボタン

設定を取り消し、ネットワーク設定確認ツールを終了します。画面右上の でも同様の操作が可能です。

③「送信」ボタン

設定を保存します。パスワードが設定されているときは、パスワードの入力が必要です。

●ネットワーク画面（「共通」設定）

ネットワーク設定に共通の情報を表示します。

<「基本」画面>



「テプラ」のプリンタ名：

①「テプラ」の「プリンタ名」入力ボックス

各プロトコル共通で使用するプリンタ名を入力してください。入力できる文字や文字数は製品によって異なります。

Bonjour：

②「Bonjour名」入力ボックス

Bonjour名を入力します。

ASCII印字可能文字が使用できます。入力できる文字数は製品によって異なります。

macOSでは¥と\は別の文字として区別されますので\"をご使用ください。

③「Bonjourサービス名」入力ボックス

Bonjourサービス名を入力します。

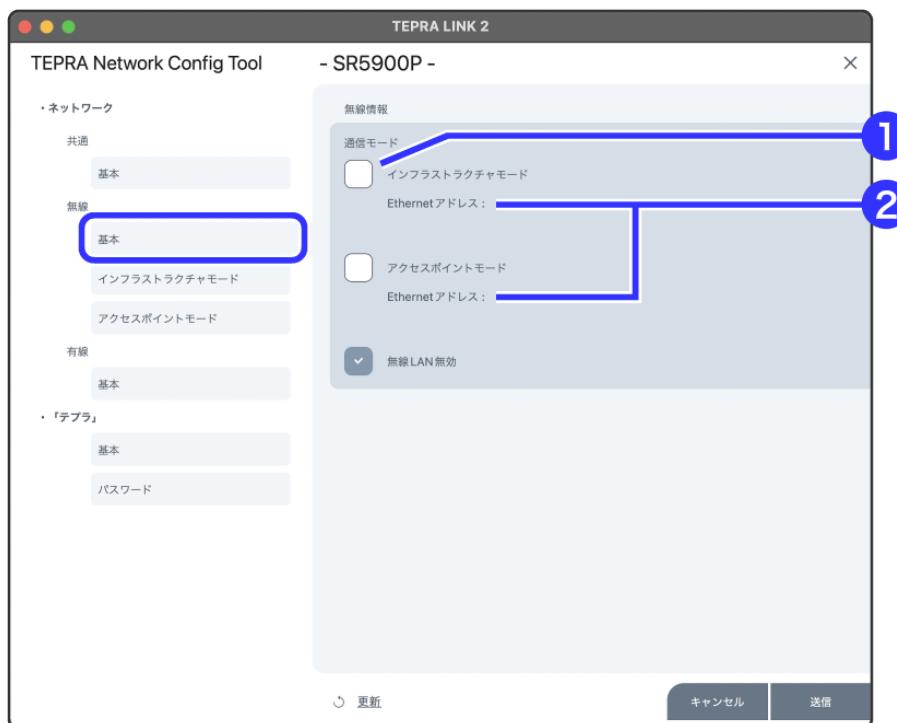
ASCII印字可能文字が使用できます。入力できる文字数は製品によって異なります。

macOSでは¥と\は別の文字として区別されますので\"をご使用ください。

●ネットワーク画面（「無線」LAN設定）

<「基本」画面>

無線LANの情報を設定します。



無線情報：

①「通信モード」選択ボタン

無線LANの通信モードを以下から選択します。

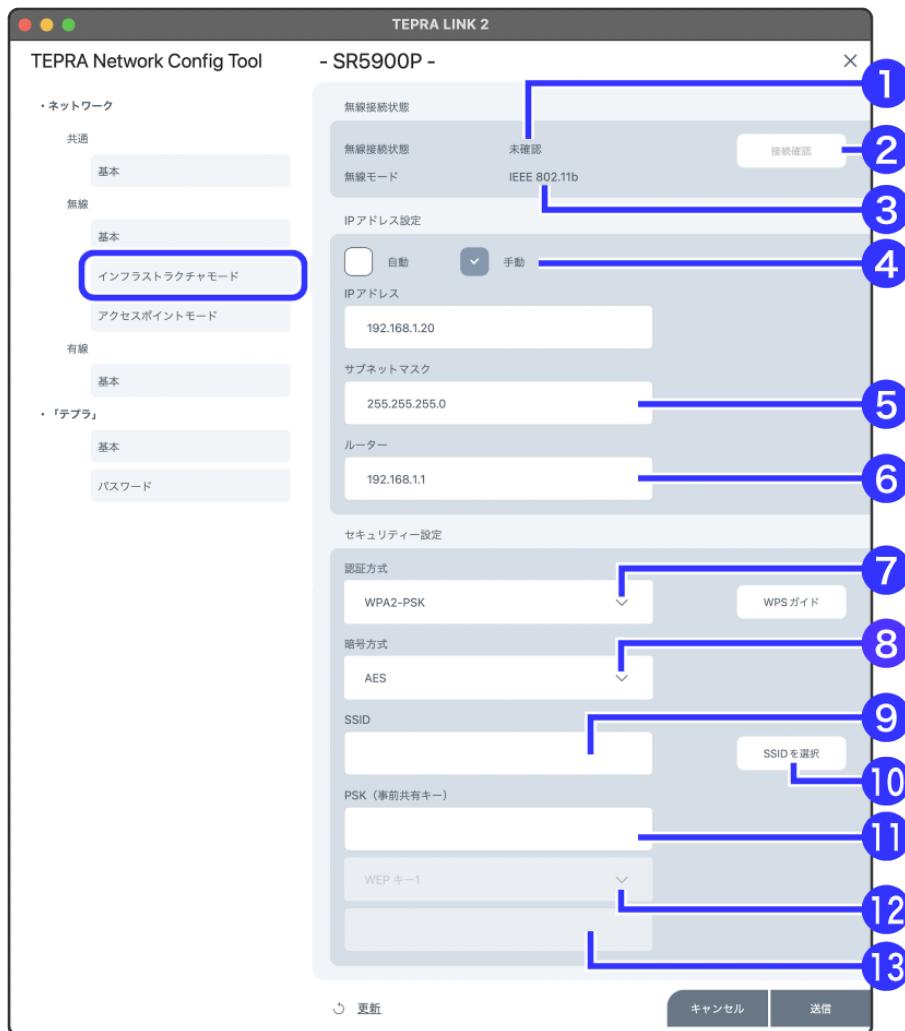
- ・「インフラストラクチャモード」お使いの「テプラ」をアクセスポイント経由で接続します。
- ・「アクセスポイントモード」お使いの「テプラ」とパソコンを直接無線で接続します。
- ・「無線LAN無効」無線LANでの接続を無効にします。

②Ethernetアドレス

無線LANのEthernetアドレスを表示します。

<「インフラストラクチャモード」設定画面>

無線LANルーターを介した無線接続方法の設定をします。



無線接続情報 :

①無線接続状態

無線LANでの接続状態を（オンライン/オフライン）で示します。

②「接続確認」ボタン

無線LANの接続状況を最新の状態に更新します。

③無線モード

無線LANの無線モードを表示します。

IPアドレス設定 :

④IPアドレスの設定方法

IPアドレスの設定方法を選択します。「テプラ」の機種によって、選択できる項目が異なります。

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するときは「自動」を選択します。「自動」を選択すると、デバイスの電源を入れるたびにデバイスに割り振られるIPアドレスが変更されます。DHCPサーバーのない環境では使用できません。

設定に関しては各サーバーの取扱説明書を参照してください。

DHCPサーバーがない環境で、TCP/IP印刷するときは、「手動」を選択してIPアドレスを設定することをお勧めします。

⑤「サブネットマスク」入力ボックス

サブネットマスクを入力します。

⑥「ルーター」入力ボックス

無線LANルーターのアドレスを入力します。

セキュリティ設定：

⑦「認証方式」選択ボタン

無線LANの認証方式を以下から選択します。

- ・「WPA-PSK」
- ・「WPA2-PSK」
- ・「Shared」 WEP方式での認証
- ・「Open」 暗号化認証なし

⑧「暗号方式」選択ボタン

無線LANの暗号化方式を以下から選択します。

- ・「WEP」
- ・「TKIP」 WPA方式の場合選択可能
- ・「AES」 WPA2方式の場合選択可能
- ・「なし」 暗号化認証なし

⑨「SSID」入力ボックス

「テプラ」のSSIDを入力します。

⑩「SSIDを選択」ボタン

アクセスポイントに接続されている機器のSSIDから「テプラ」を選択可能

⑪「PSK（事前共有キー）」入力ボックス

事前認証の暗号キーを入力します。

ASCII印字可能文字が使用できます。入力できる文字数は製品によって異なります。

macOSでは¥'と¥'は別の文字として区別されますので¥'をご使用ください。

⑫「WEPキー インデックス」選択ボタン

4種類のWEPキーが選択できます。

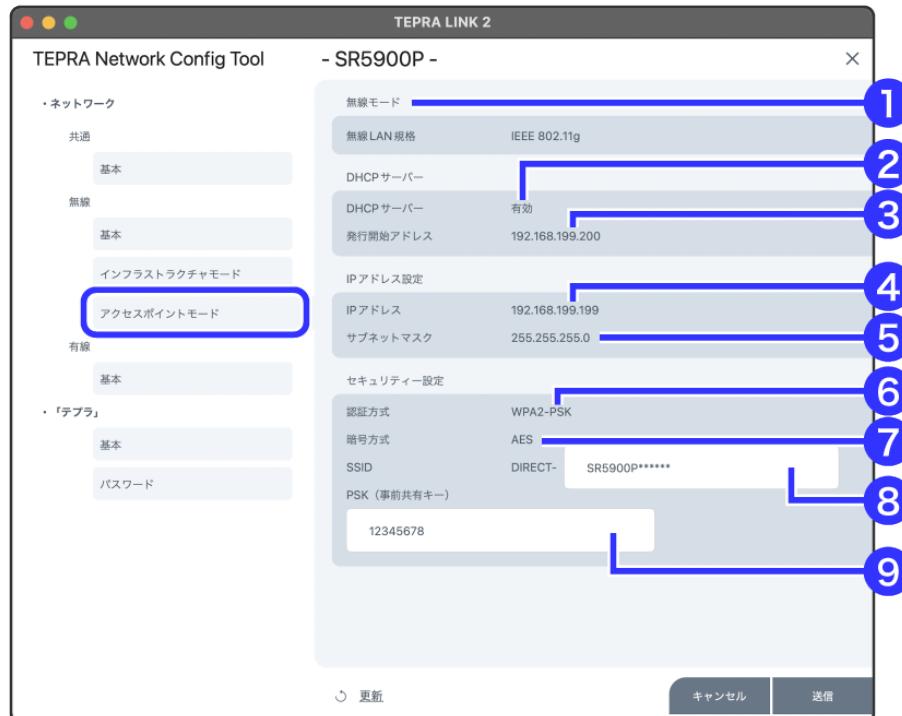
⑬「WEPキー」入力ボックス

WEP認証の暗号キーを入力します。

64ビットまたは128ビットの暗号鍵が入力できます。

<「アクセスポイントモード」設定画面>

無線LANルーターを介さず、直接「テプラ」と無線接続する方法の設定をします。



無線モード :

①無線モード

無線LANの無線モードを表示します。

DHCPサーバー :

②DHCPサーバー

「テプラ」のDHCP設定状態を（有効/無効）で示します。

③発行開始アドレス

「テプラ」のDHCP発行開始IPアドレスを表示します。

IPアドレス設定 :

④IPアドレス

「テプラ」本体（アクセスポイント）のIPアドレスを表示します。

⑤サブネットマスク

サブネットマスクを表示します。

セキュリティ設定 :

⑥認証方式

無線LANの認証方式を表示します（WPA2-PSK）。

⑦暗号方式

無線LANの暗号化方式を表示します（AES）。

⑧「SSID」入力ボックス

「テプラ」のSSIDを入力します。

ASCII印字可能文字が使用できます。入力できる文字数は製品によって異なります。

macOSでは「¥」と「₩」は別の文字として区別されますので「₩」をご使用ください。

⑨「PSK（事前共有キー）」入力ボックス

事前認証の暗号キーを入力します。

ASCII印字可能文字が使用できます。入力できる文字数は製品によって異なります。

macOSでは「¥」と「₩」は別の文字として区別されますので「₩」をご使用ください。

●ネットワーク画面（「有線」LAN設定）

有線LAN接続の情報を表示します。

ネットワークが対応していない機能は、表示されない、または選択できません。

<「基本」画面>

有線LANの情報を設定します。



有線接続状態：

①有線接続状態

有線LANでの接続状態を（オンライン/オフライン）で示します。

②「接続確認」ボタン

無線LANの接続状況を最新の状態に更新します。

有線情報：

③有線Ethernetアドレス

有線LANのEthernetアドレスを表示します。

IPアドレス設定：

④IPアドレスの設定方法

IPアドレスの設定方法を選択します。「デプラ」の機種によって、選択できる項目が異なります。

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するときは「自動」を選択します。「自動」を選択すると、デバイスの電源を入れるたびにデバイスに割り振られるIPアドレスが変更されます。DHCPサーバーのない環境では使用できません。

設定に関しては各サーバーの取扱説明書を参照してください。

DHCPサーバーがない環境で、TCP/IP印刷するときは、「手動」を選択してIPアドレスを設定することをお勧めします。

⑤「サブネットマスク」入力ボックス

サブネットマスクを入力します。

⑥「ルーター」入力ボックス

ルーターのアドレスを入力します。

● 「テプラ」画面

「テプラ」に関する情報を設定または表示します。

この情報は一部対象機種のみ設定/表示できます。また「テプラ」に搭載されているオプション項目のみ表示します。通信している「テプラ」により表示項目が異なります。

<「基本」画面>



①ソフトウェア情報

ファームウェアバージョンを表示します。

②「印刷タイムアウト」入力ボックス

ネットワークに関するタイムアウト時間を設定します。

30~300秒を1秒単位で設定できます。

<「パスワード」画面>

「テプラ」にパスワードを設定します。
パスワードが設定される設定値はパスワードが合致しないと変更できなくなります。
パスワードを忘れた場合は「テプラ」の設定ができなくなりますのでご注意ください。



①「管理者用パスワードを変更する」チェックボックス

「テプラ」のパスワードを変更/設定する場合は、このボタンをクリックしてチェックマークを付けてください。

②「新しいパスワード」入力ボックス

「テプラ」に設定するパスワードを入力します。

ASCII印字可能文字が使用できます。入力できる文字数は製品によって異なります。

③「パスワードの再入力」入力ボックス

「テプラ」に設定するパスワードで入力したパスワードをもう一度入力します。

②流し込みフォームによるラベルの編集方法

流し込みフォームでは、編集したデータの項目をラベルにレイアウトして印刷することができます。

宛名ラベルを作るときや、管理表から備品管理ラベルを作るときなどに便利な機能です。

※本機能は、iOS/Android向けではバージョン1.0.5以降、macOS向けではバージョン1.0.2以降で使用できます。

●各画面の説明



① フォーム切替

ラベルの編集フォームを切り替えます。

② 流し込みデータの編集画面表示

流し込みデータの編集画面を表示します。

③ リスト

レイアウト編集画面で編集したラベルの一覧を表示します。

④流し込みデータの編集画面

流し込みをおこなうデータを編集します。

⑤ すべてのデータをクリア

編集したデータの内容を削除します。

⑥ インポート

TXTやCSV形式のファイルをインポートします。

⑦ エクスポート

編集したデータをCSV形式のファイルでエクスポートします。

⑧列タイトル

列のオブジェクト挿入、列の挿入・削除、タイトル編集、ソートをおこなうことができます。

※行をタップすると行の挿入・削除をおこなうことができます。

●流し込みデータを新規作成する

レイアウト編集画面で (フォーム切替) をタップし、編集フォーム選択画面で「流し込み」を選択



※流し込み編集フォームから一般編集フォームに変更する場合、流し込み編集フォームで作成した流し込みデータの編集内容と流し込みオブジェクトが削除されますのでご注意ください。

●データを入力する

①画面下部の (流し込みデータの編集表示) をタップし、流し込みデータの編集画面を表示する



②セルを選択してデータを入力する

	A	B	C
1	123-4567	東京都千代田…	喜多野大地
2	234-5678	岩手県花巻市	伊井鳩雄
3	210-9876	宮城県仙台市	釜房良湖
4	345-6789	長野県大町市	黒部今日子
5	345-7890	長野県福島市	木曾駒子
6			

※流し込みデータの編集画面を閉じるときは、をタップしてください。

●データを流し込む

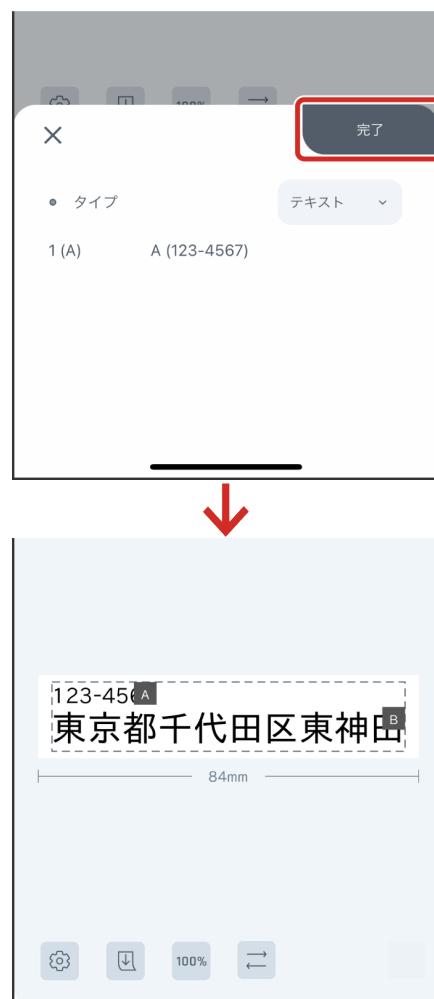
- ①流し込む列の列タイトルをタップし、「流し込みオブジェクト挿入」を選択

	A	B	C
1	123-4567	東京都千代田…	喜多野大地
2	234-5678	岩手県花巻市	伊井鳩雄
3	210-9876	宮城県仙台市	釜房良湖
4	345-6789	長野県大町市	黒部今日子
5	345-7890	長野県福島市	木曾駒子
6			



②列属性を選択し、「完了」をタップ

レイアウトの編集画面に流し込みオブジェクトとして挿入されます。
「タイプ」から「テキスト」、「QRコード」、「CODE39」、「CODE128」、
「JAN-13」を選択し、流し込むオブジェクトの属性を設定することができます。



※流し込みオブジェクトをタップすると、オブジェクトの編集画面が表示されます。ダブルタップすると、列属性の設定を編集することができます。

※バーコードの各種形式については、“4-7 写真、連番、バーコードの編集機能の詳細”を参照してください。

●外部データをインポートする

TXT（カンマ/Tab区切り）、CSV形式のファイルを読み込んで利用することができます。

①流し込みデータの編集画面で (インポート) をタップ

	A	B	C
1	123-4567	東京都千代田…	喜多野大地
2	234-5678	岩手県花巻市	伊井鳩雄
3	210-9876	宮城県仙台市	釜房良湖
4	345-6789	長野県大町市	黒部今日子
5	345-7890	長野県福島市	木曾駒子
6			

②ファイルを指定する

③ファイル内の各種形式を選択し、「完了」をタップ



※データ数は最大1000列1000行、1セル1000文字までです。

●作成したデータをエクスポートする

作成した流し込みデータは、CSV形式のファイルに書き出して保存することができます。

①流し込みデータの編集画面で (エクスポート) をタップ

	A	B	C
1	郵便番号	住所	氏名
2	123-4567	東京都千代田…	喜多野大地
3	234-5678	岩手県花巻市	伊井鳩雄
4	210-9876	宮城県仙台市	釜房良湖
5	345-6789	長野県大町市	黒部今日子
6	345-7890	長野県福島市	木曾駒子

※各列のタイトルを1行目として保存する場合は、選択肢に従って「タイトルとして保存」を選択してください。列のタイトルを1行目に反映しない場合は、「タイトルは保存しない」を選択してください。「キャンセル」をタップするとエクスポートをキャンセルします。

②保存先を選択し、「保存」をタップ